

2017年度卒業生アンケート調査結果報告

法政大学への満足度は83.5%、卒業学部への満足度は82.6%。近年は8割以上で推移。

教育内容への満足度は、5項目で7割以上の学生が満足。また、近年は外国語教育やカリキュラムなどの満足度が上昇傾向。

身につけることができた知識や能力は、「自己判断能力」、「幅広い教養」、「専門的知識とその応用力」、「コミュニケーション能力」など、6項目で7割以上の学生が成長を実感。

法政大学への推奨度は上昇傾向。7割以上の学生が身近な進学希望者に法政大学を勧めたい。

<調査概要>

□ 調査の方法（2017年度）

調査対象 2017年9月および2018年3月卒業生

調査方法 学位記交付会場または学部窓口にて配布、回収

調査時期 9月卒業生：2017年9月16日～2018年4月3日回収分までを集計対象とした。
3月卒業生：2018年3月24日～2018年4月3日回収分までを集計対象とした。

□ 年度別回収状況

年度	卒業者数	回答数	回収率
2017	6,561	5,783	88.1%
2016	6,062	5,374	88.7%
2015	6,021	5,437	90.3%
2014	6,129	5,511	89.9%
2013	6,292	5,559	88.4%
2012	6,196	5,220	84.2%
2011	6,100	4,998	81.9%
2010	6,985	6,041	86.5%

□ グラフ参照における共通注意事項

- ・端数処理の関係上、肯定的回答の合計と内訳が一致しないことがある。
- ・各設問に対し、2010～2013年度は「わからない」の回答項目を設置していたが、2014年度より廃止した。

<調査結果>

1 法政大学および卒業学部に対する満足度

図 1.1 及び図 1.2 は、「法政大学および卒業する学部へのどの程度満足していますか」との質問に対する肯定的回答（「満足している」＋「やや満足している」）を経年比較したものです。

2017 年度は、法政大学に対する満足度の肯定的回答は 83.5%、卒業学部に対する満足度の肯定的回答は 82.6%でした。続いて経年推移を見ると、両満足度ともに大きな変化はないものの、2012 年度を底にその後上昇し、2014 年度以降は 8 割以上で推移しています。

図 1.1 法政大学に対する満足度

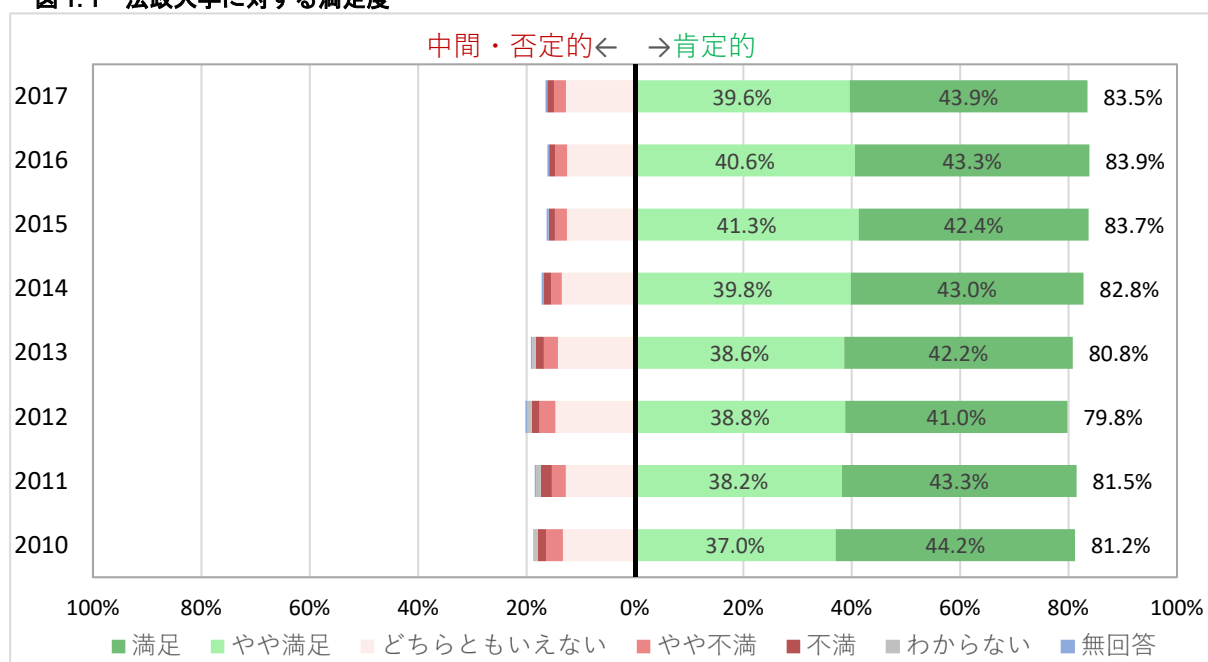
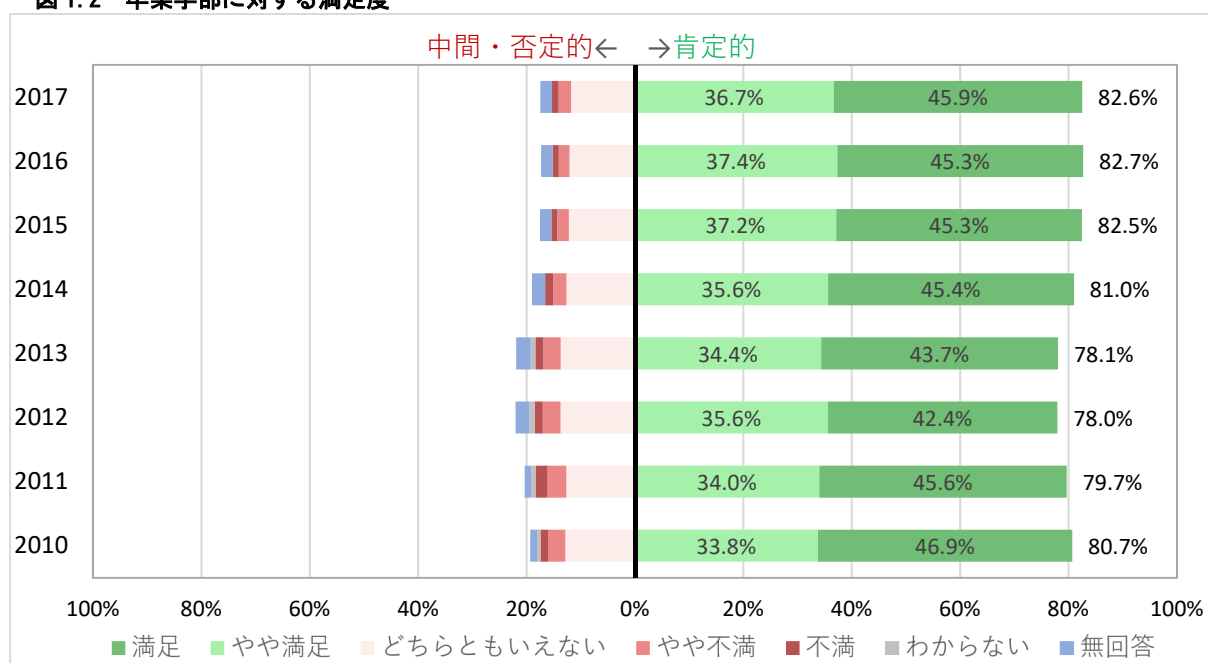


図 1.2 卒業学部に対する満足度



2 教育内容への満足度

図 2.1～図 2.10 は、「教育内容についてあなたはどの程度満足していますか」との質問に対する回答結果を、単年度集計と経年比較したものです。教育内容は、①教養教育、②専門課程の教育、③英語教育、④その他の外国語教育、⑤情報教育、⑥教授陣、⑦ゼミナール、⑧カリキュラム全般、⑨キャリア教育の 9 項目について尋ねました。

2017 年度の肯定的回答は「専門教育」が 80.0%と最も高く、「ゼミナール」「教授陣」「教養教育」「カリキュラム全般」が 7 割以上、「キャリア教育」「情報教育」が 6 割程度と続き、「その他外国語教育」「英語教育」はいずれも 50%台でした。

経年推移を見ると、傾向は大きく分けて次の 3 つに分けられます。第 1 に、「教養教育」「専門課程の教育」「情報教育」は、2014 年度を境に肯定的回答の割合が増加しました。第 2 に、「英語教育」「その他外国語教育」「カリキュラム全般」「キャリア教育」は、直近の 4、5 年の間に増加傾向にあります。第 3 に、「教授陣」「ゼミナール」は 2010 年度以降あまり変化がなく、75%程度で推移しています。

図 2.1 教育内容への満足度

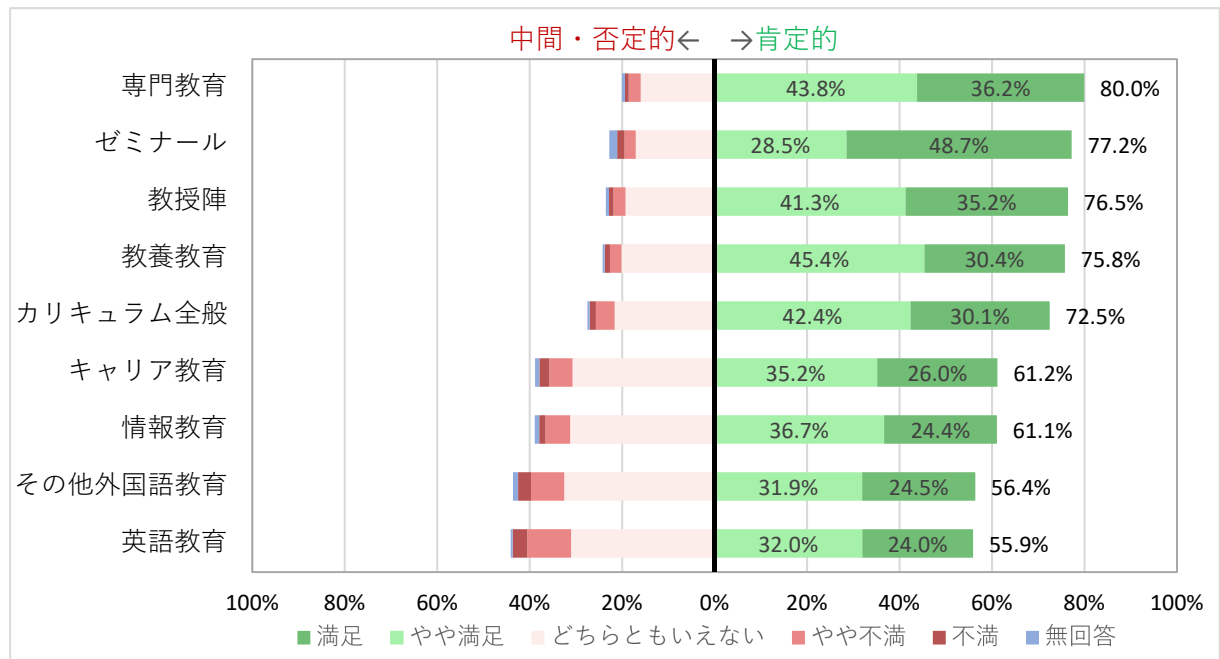


図 2.2 教養教育の満足度 ※GISは集計対象外

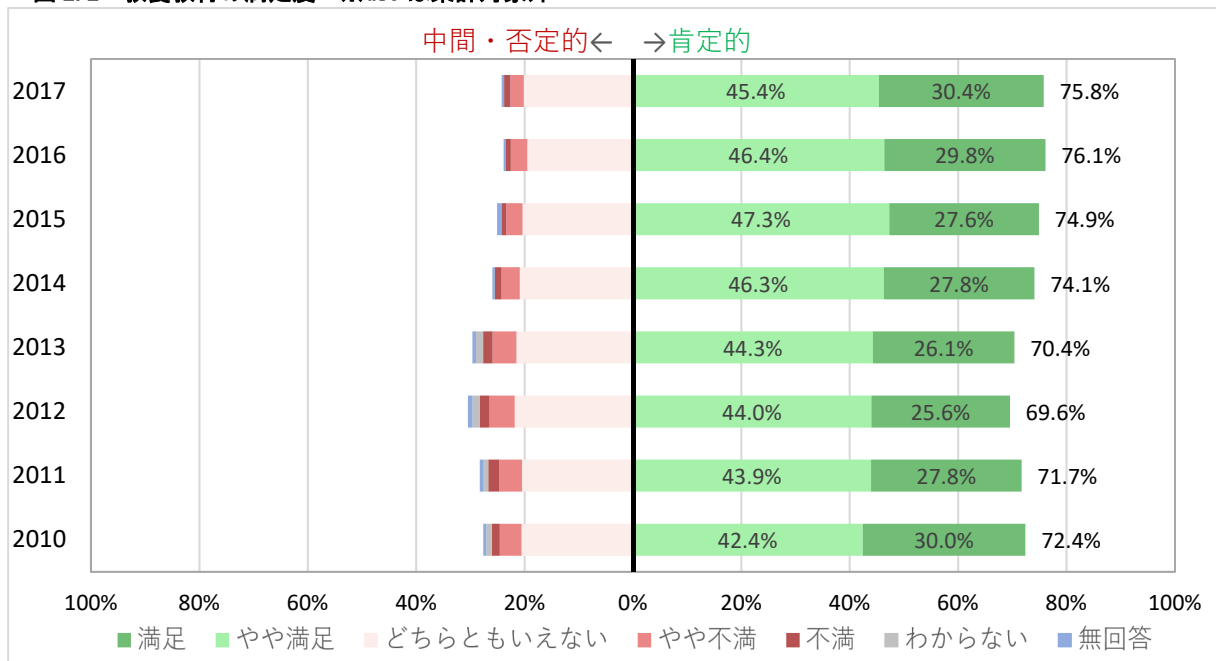


図 2.3 専門課程の教育の満足度

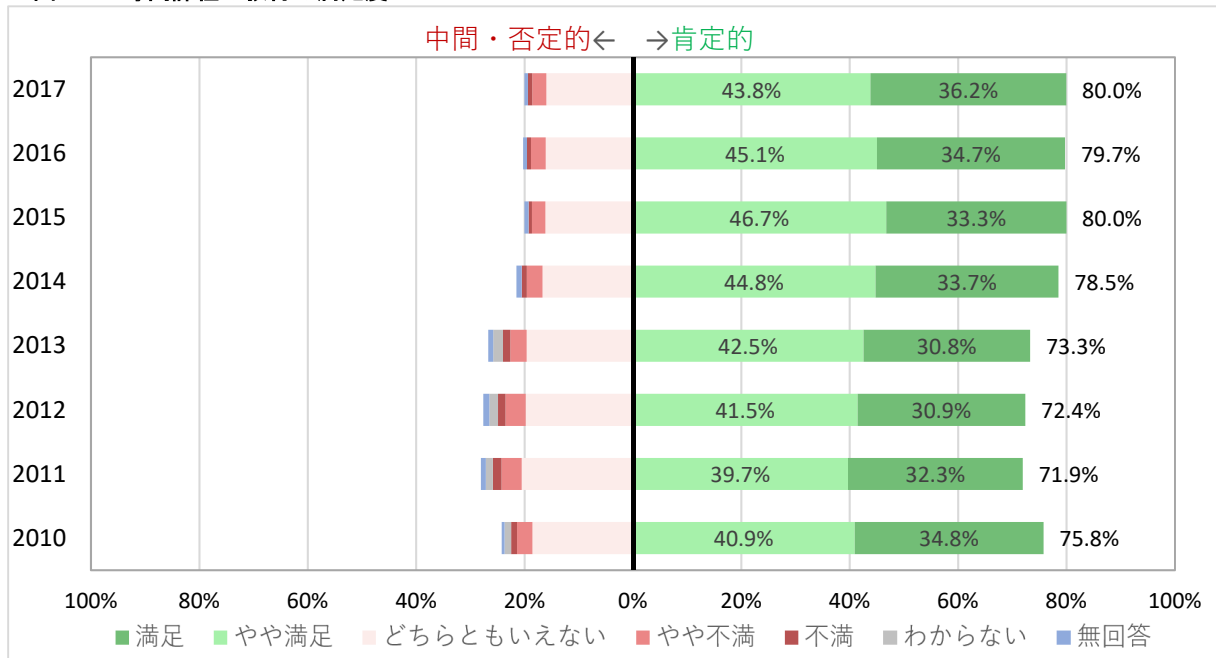


図 2.4 英語教育の満足度

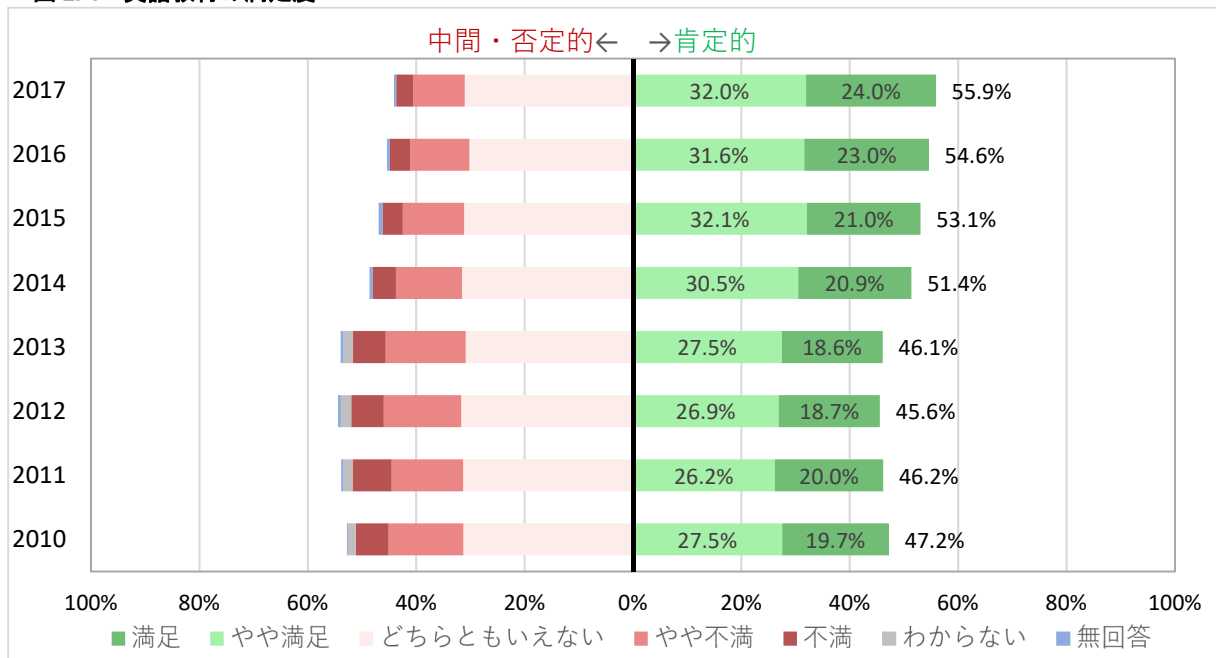


図 2.5 その他の外国語教育の満足度

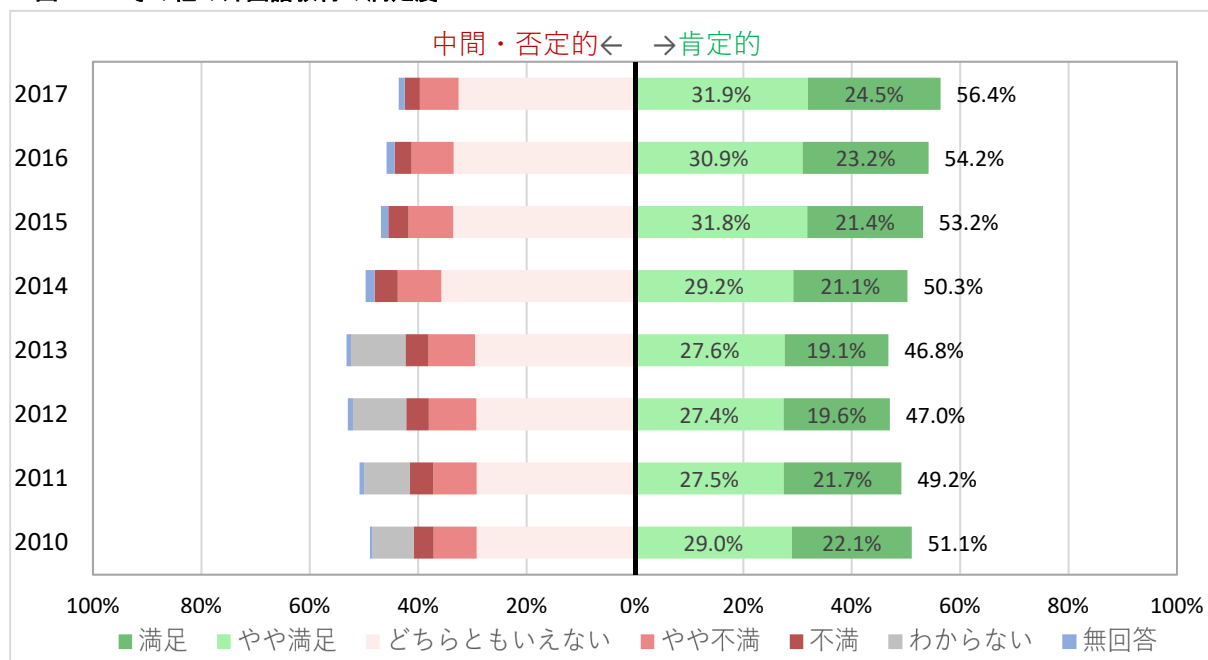


図 2.6 情報教育の満足度

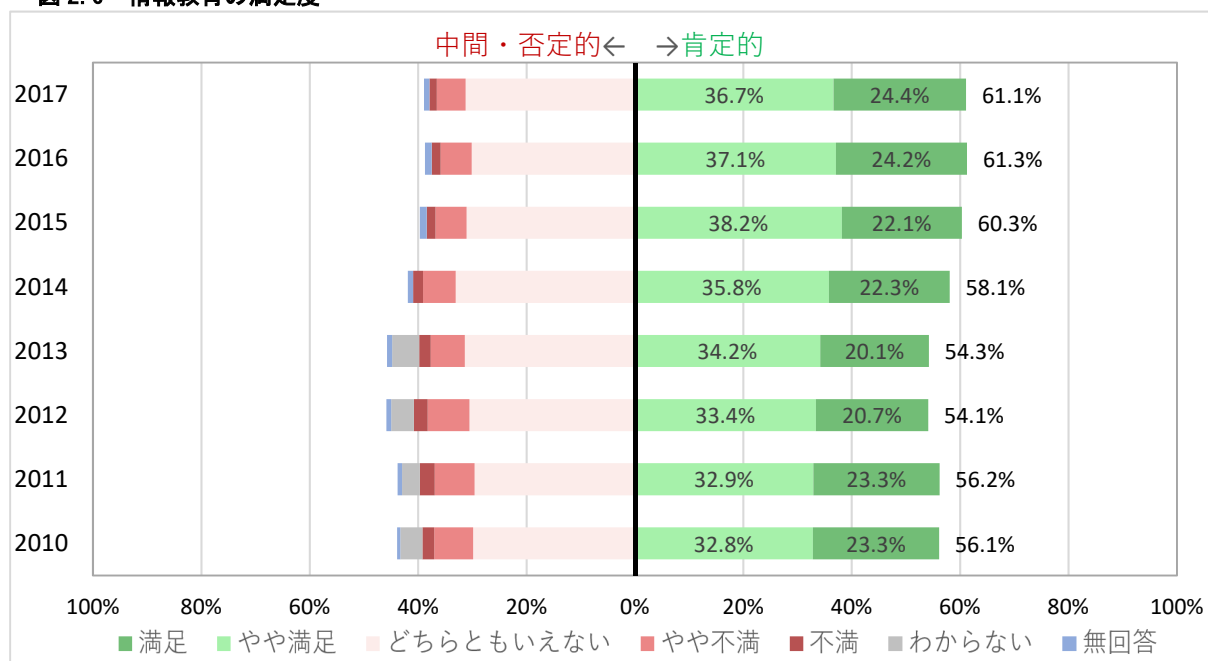


図 2.7 教授陣の満足度

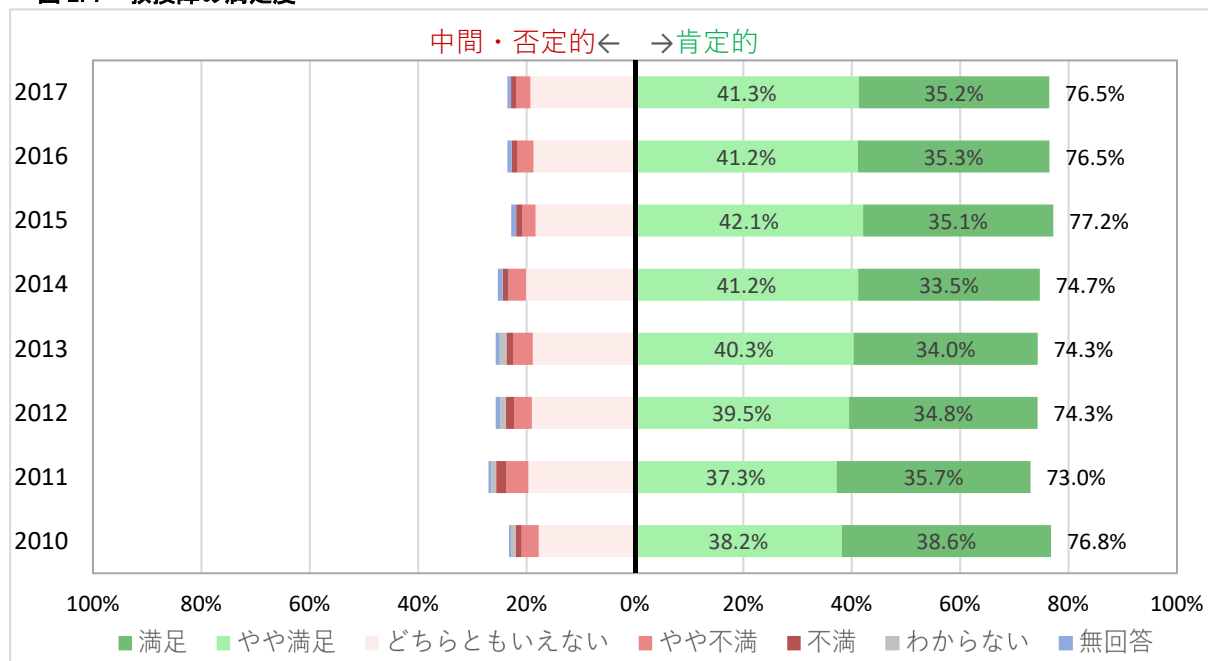


図 2.8 ゼミナールの満足度

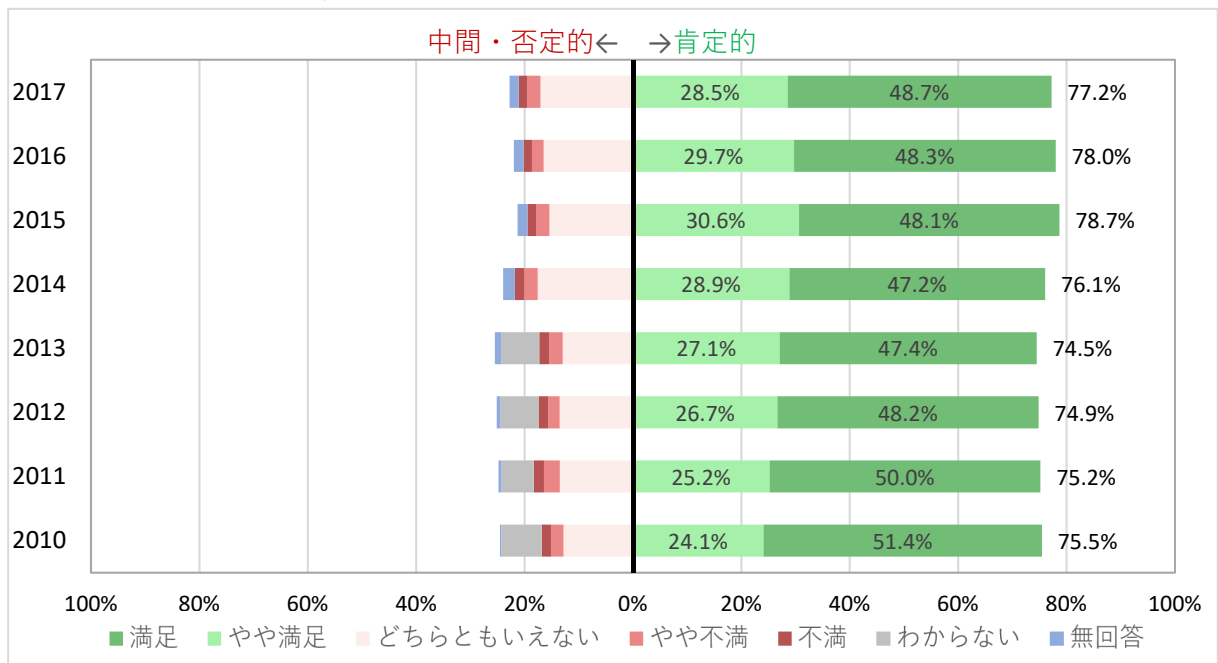


図 2.9 カリキュラム全般の満足度

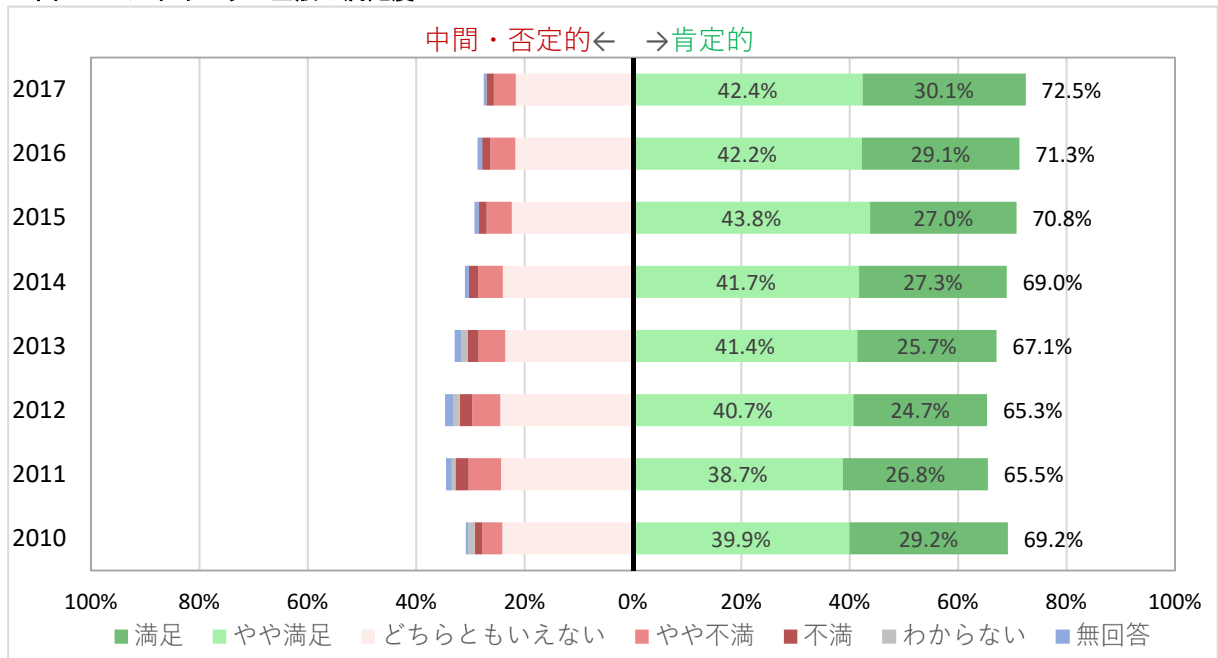
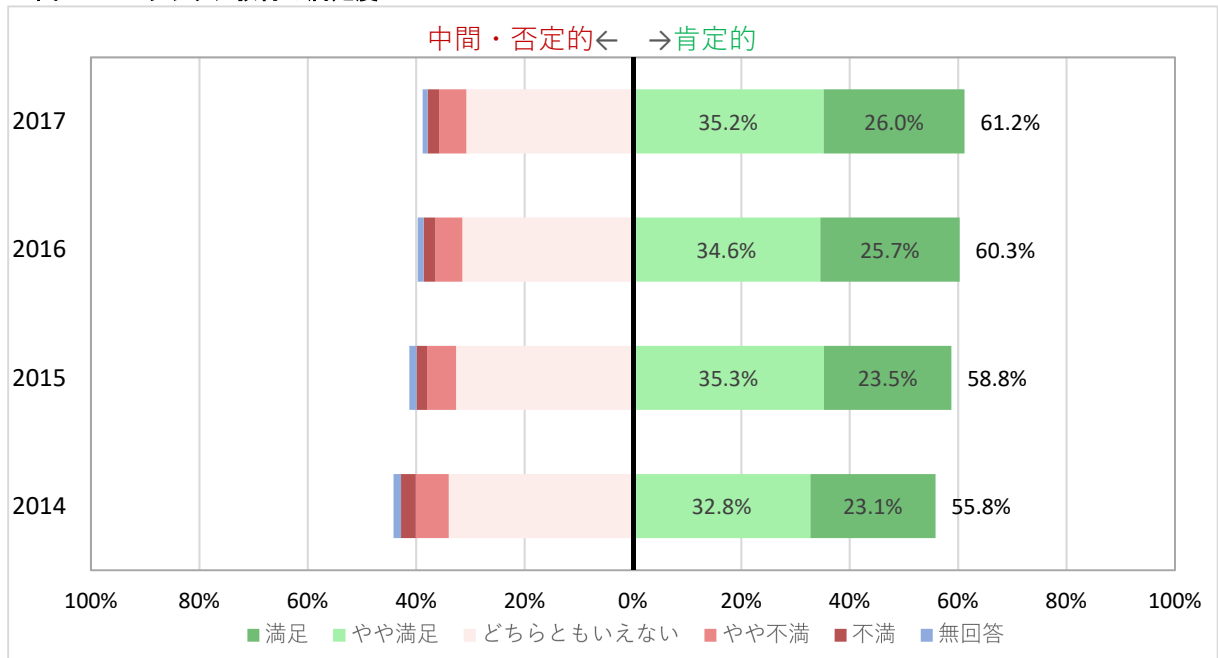


図 2.10 キャリア教育の満足度



3 身につけることができた知識や能力

図 3.1～図 3.10 は、「大学での授業や活動を通して、以下の能力を身につけることができましたか」との質問に対する回答結果を、単年度集計と経年比較したものです。知識や能力は、①専門的知識とその応用力、②幅広い教養、③英語能力、④その他の外国語能力、⑤課題を発見し、解決する能力、⑥コミュニケーション能力、⑦自分で判断する能力、⑧チームワーク力、⑨社会に出ていく自信・能力の 9 項目について尋ねました。

2017 年度は、肯定的回答（「そう思う」＋「いづらかそう思う」）は「自己判断能力」が 77.5%と最も高く、「幅広い教養」「専門的知識とその応用力」「コミュニケーション能力」「チームワーク力」「課題発見・解決能力」が 7 割以上で続いた一方、「英語能力」「その他外国語能力」はいずれも約 4 割でした。

経年推移を見ると、大きく分けて次の 3 つの傾向に分けられます。第 1 に、「専門的知識とその応用力」「幅広い教養」は、2010 年度以降、肯定的回答の内訳には変化があったものの、合計値はほとんど変化がありません。第 2 に、「英語能力」「その他の外国語能力」は、調査開始以降、肯定的回答が増加傾向にあります。第 3 に、「課題発見・解決能力」「コミュニケーション能力」「自己判断能力」「チームワーク力」「社会に出ていく自信・能力」は、2014 年度まで低下傾向でしたが、2015 年度を境に肯定的回答が増加しています。

図 3.1 身につけることができた知識や能力

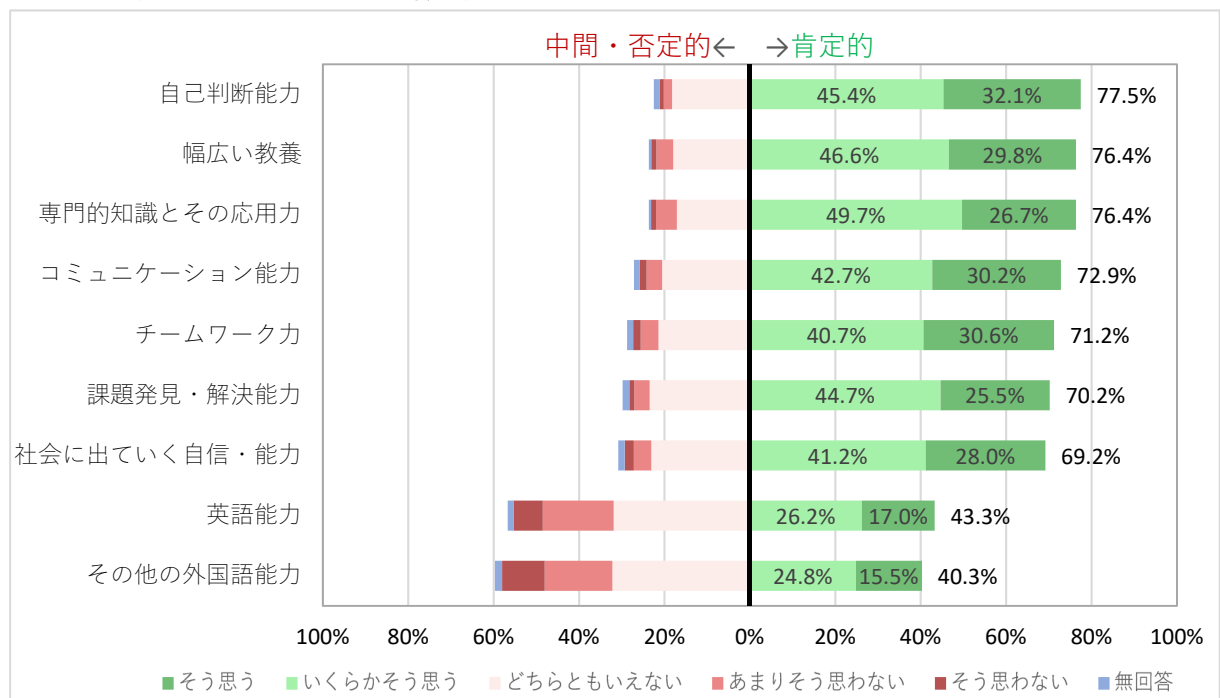


図 3.2 専門的知識とその応用力

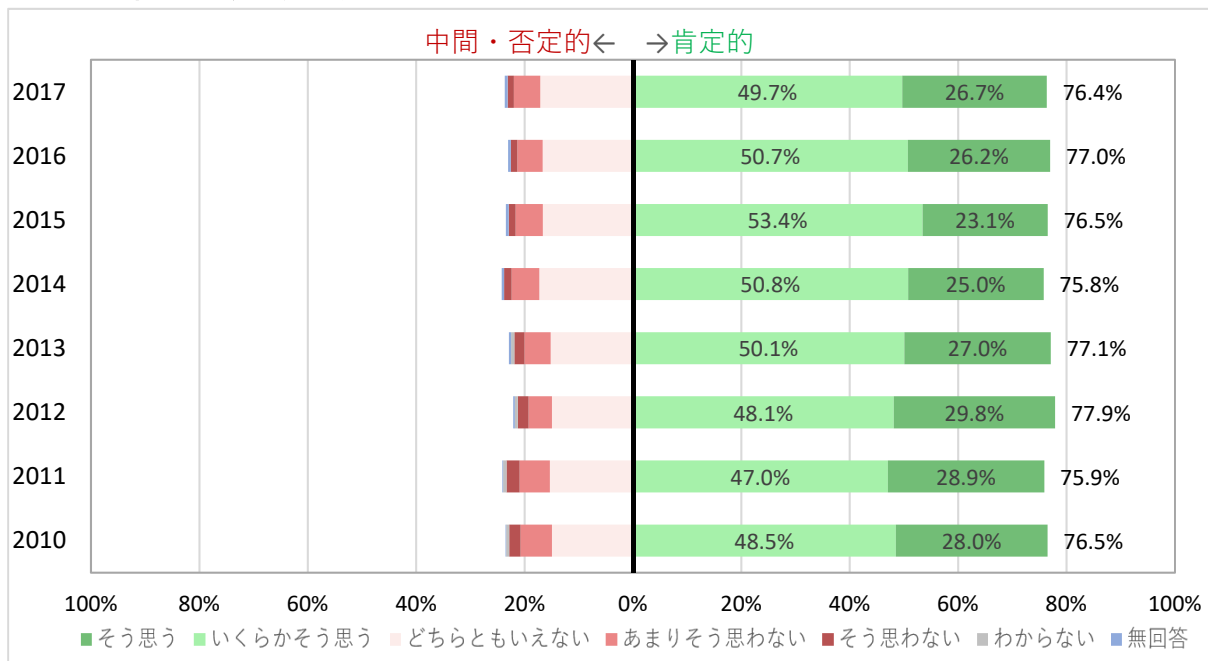


図 3.3 幅広い教養

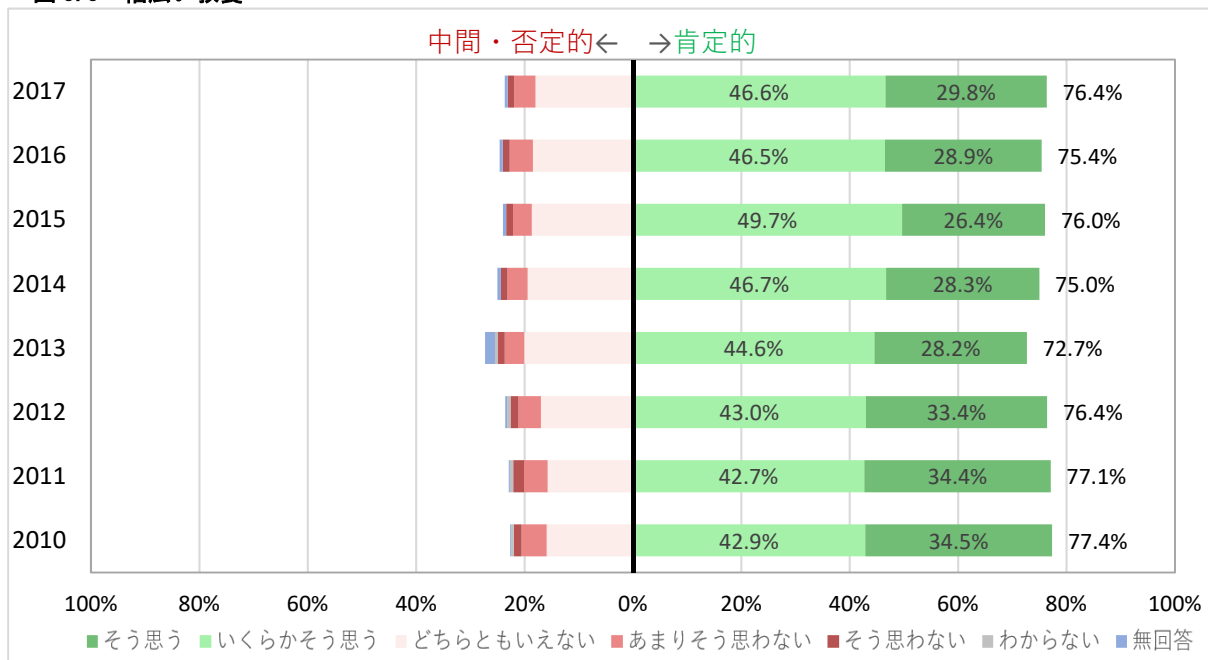


図 3.4 英語能力

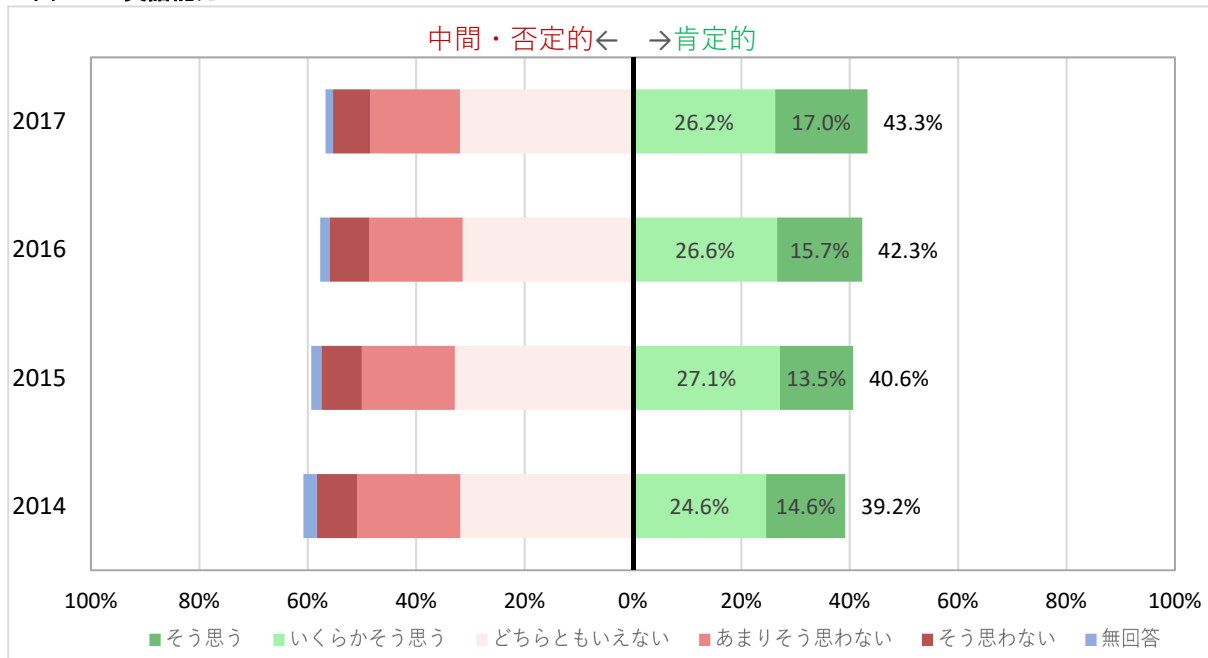


図 3.5 その他の外国語能力

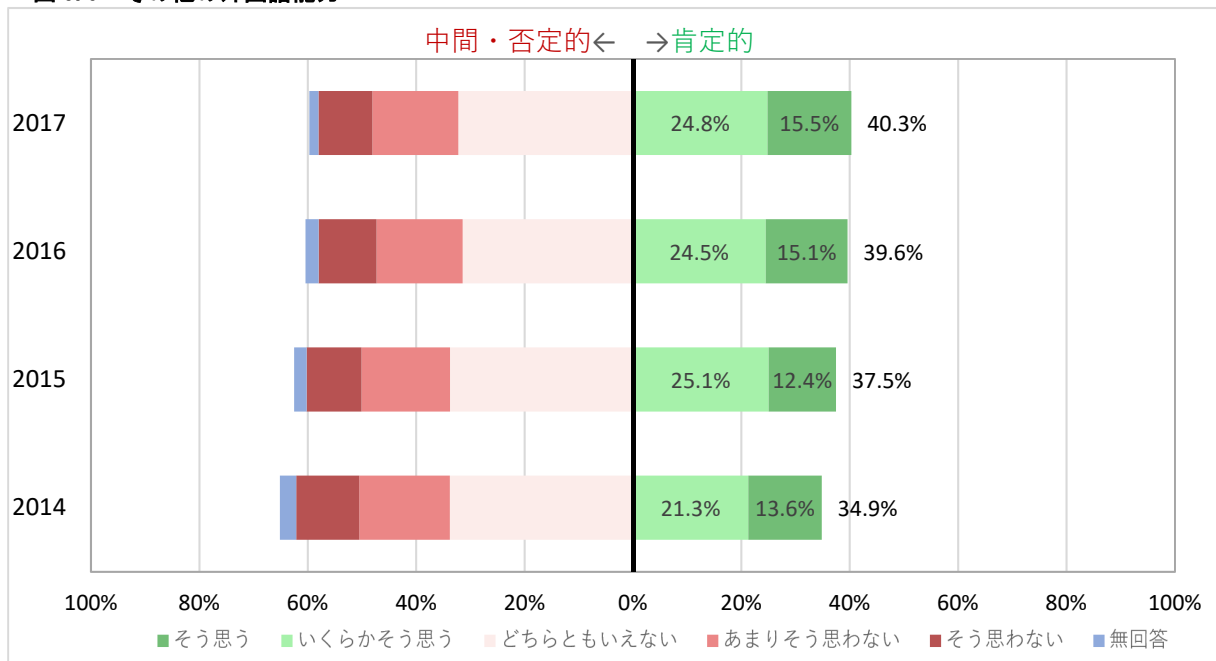


図 3.6 課題発見・解決能力

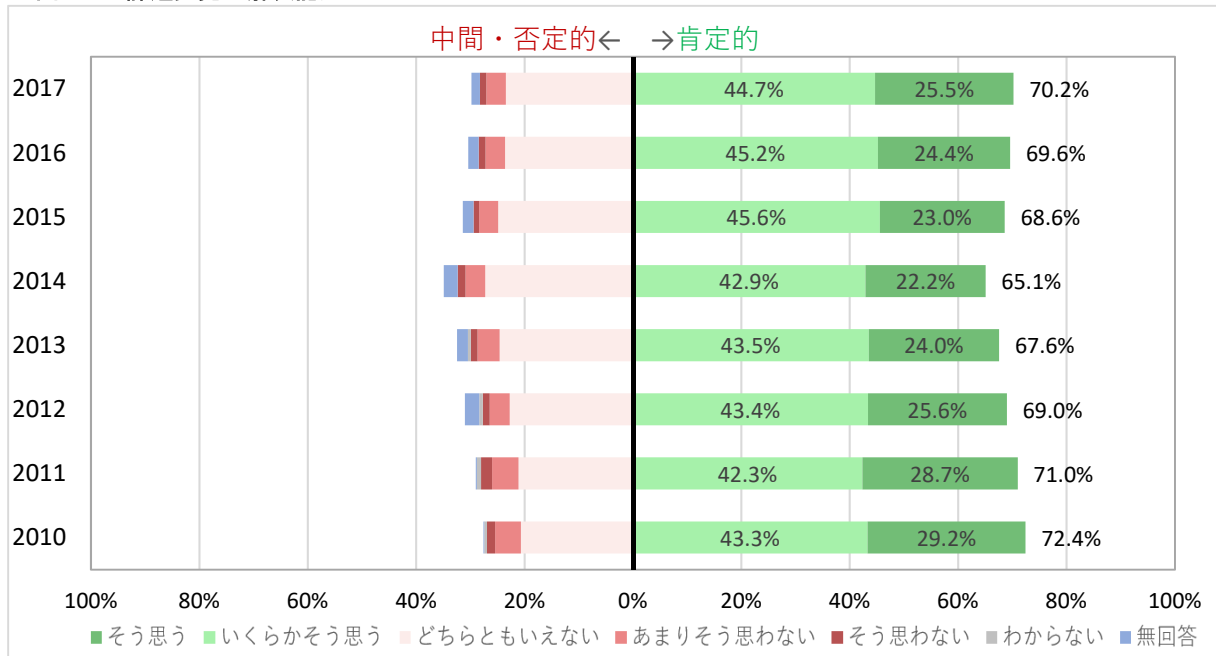


図 3.7 コミュニケーション能力

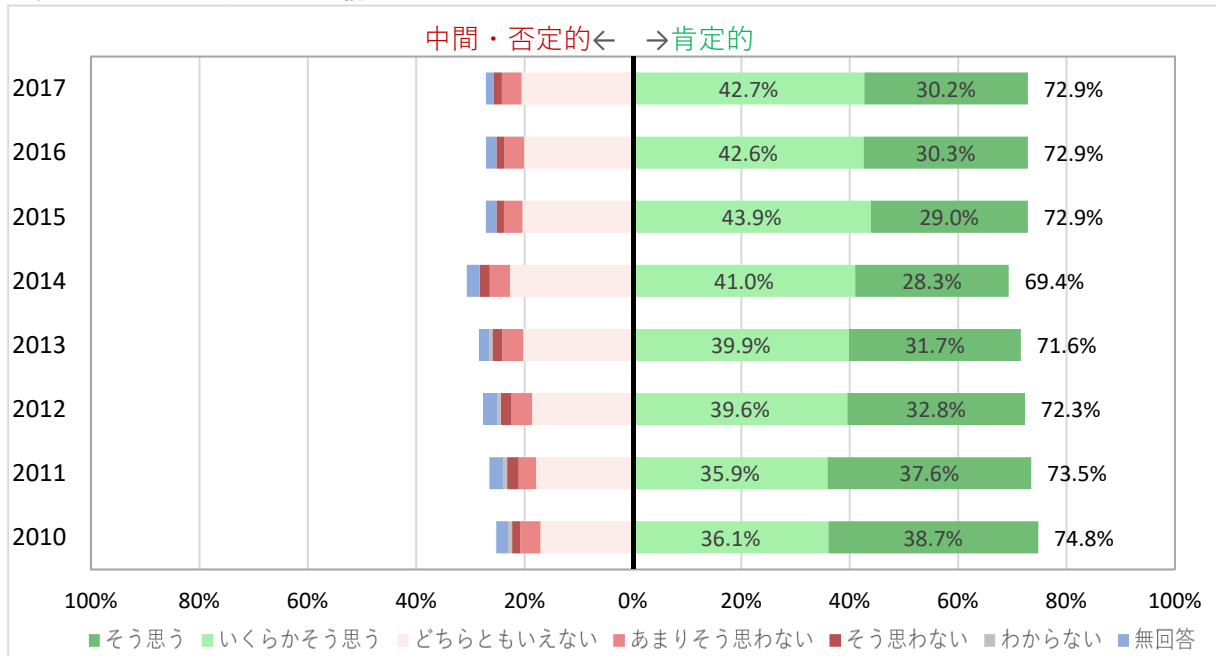


図 3.8 自己判断能力

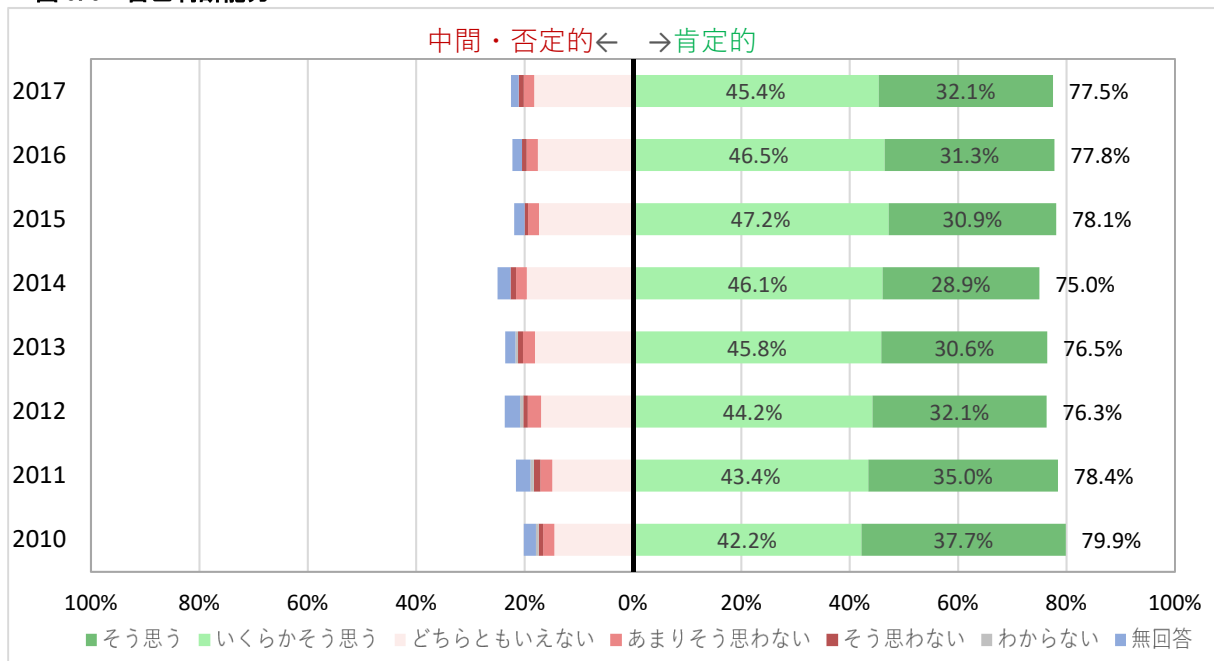


図 3.9 チームワーク力

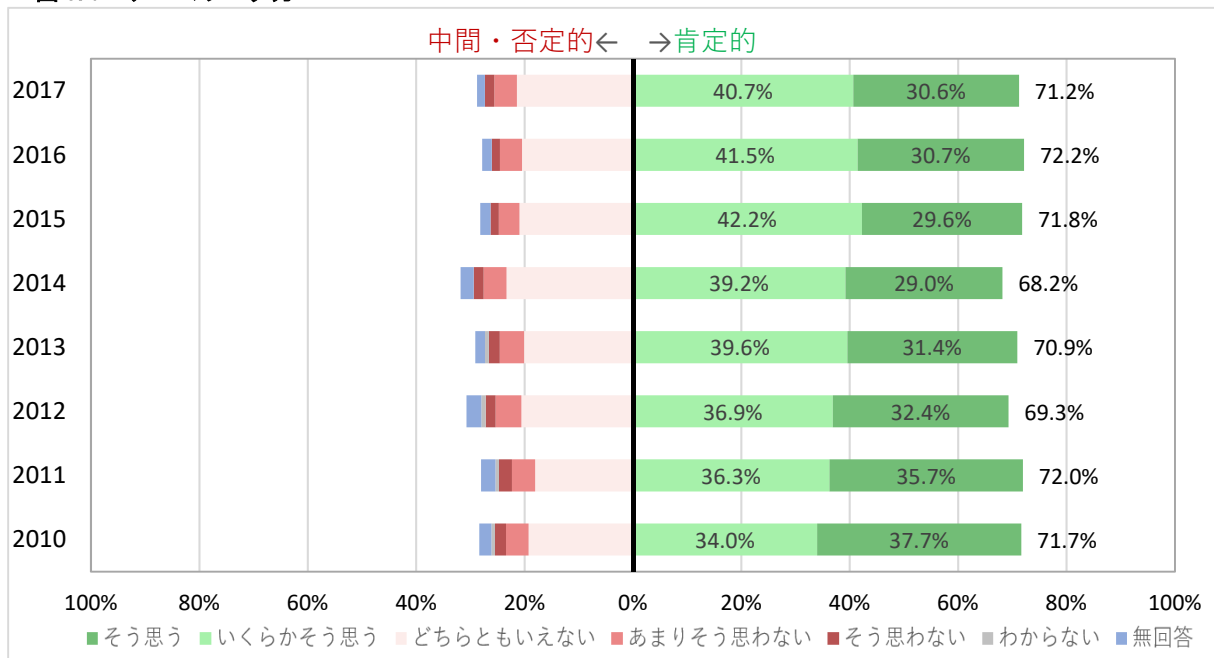
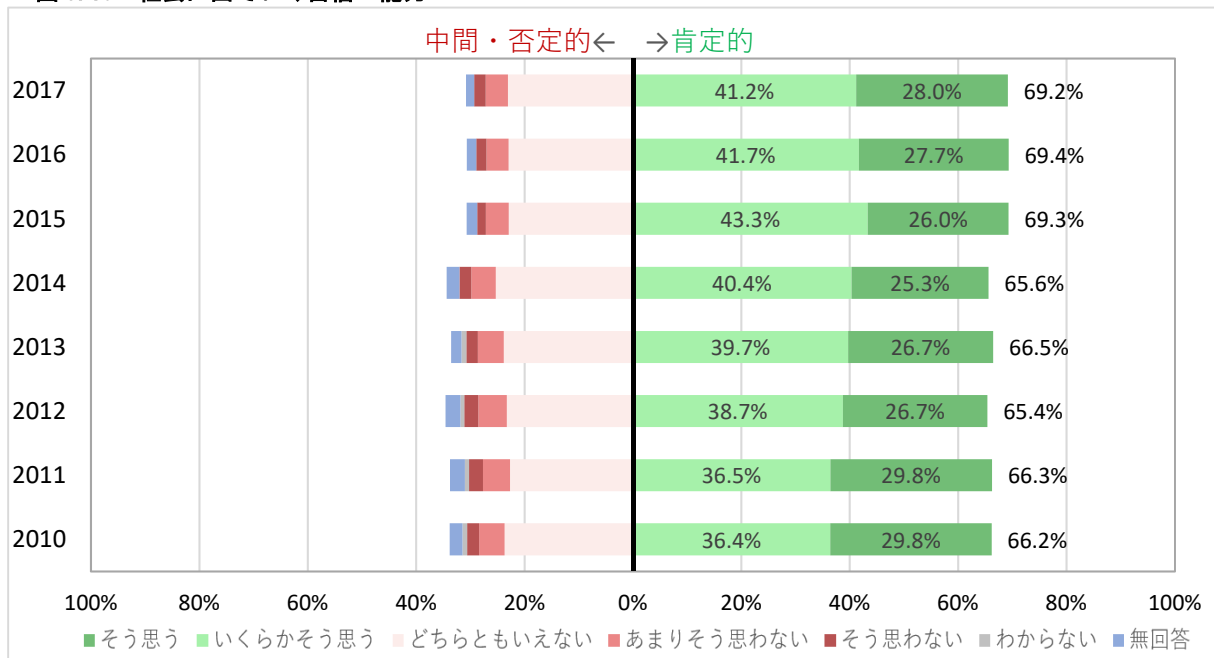


図 3.10 社会に出ていく自信・能力

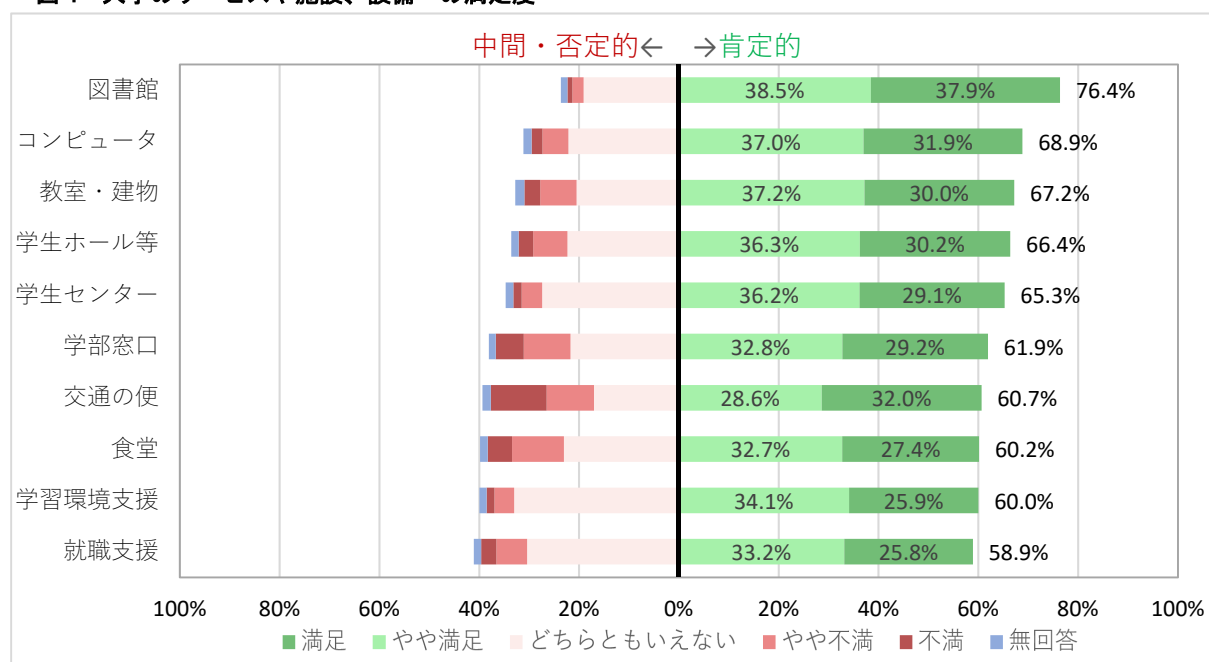


4 大学のサービスや施設、設備への満足度

図4は、「大学のサービスや施設・設備に対してどの程度満足していますか」の質問に対する回答を、単年度集計したものです。サービスは①学部窓口、②図書館、③学生センター、④コンピュータ、⑤就職支援、⑥学習環境支援の6項目、キャンパスの施設・設備は⑦教室・建物、⑧学生ホール・サークル施設・広場等、⑨食堂、⑩交通の便の4項目について質問しました。

肯定的回答は図書館が76.4%で最も高く、その他の項目は6割～7割程度で続いています。

図4 大学のサービスや施設、設備への満足度

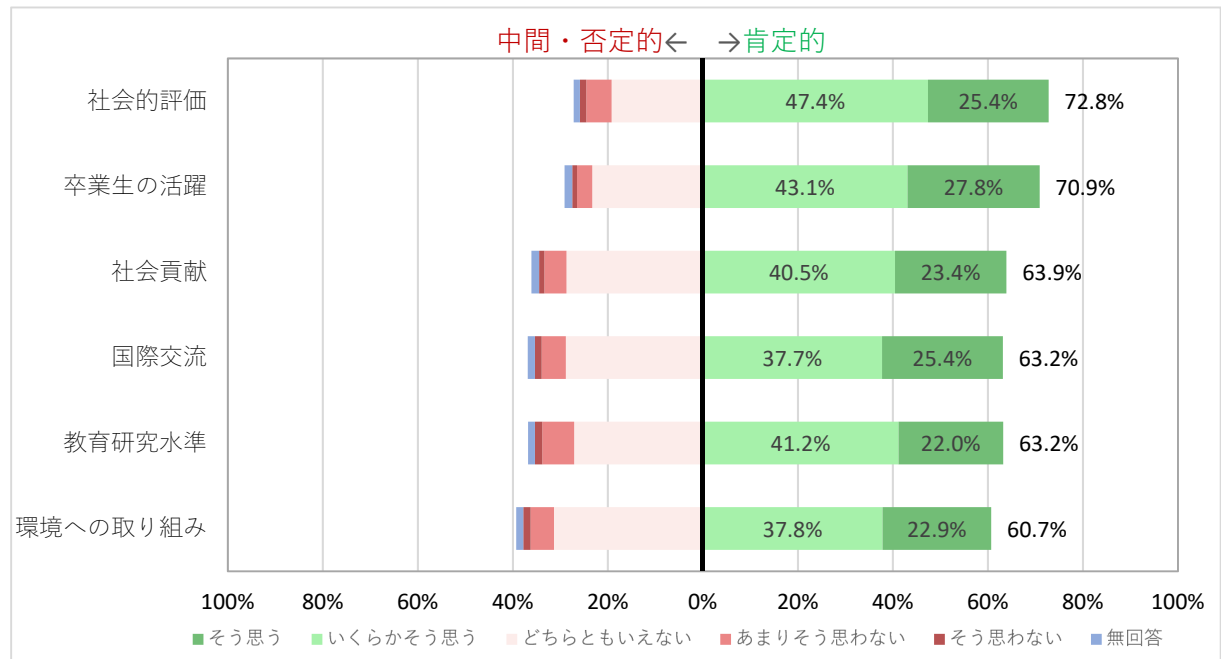


5 法政大学の評価（イメージ）

図5は、「法政大学は社会からどのように評価されていますか」の質問に対する回答を、単年度集計したものです。評価は、①社会的に評価されている、②教育研究水準は相対的に高い、③教育研究を通して社会に貢献している、④国際交流事業は活発である、⑤環境への取り組みを通して社会に貢献している、⑥卒業生は社会的に活躍している、の6項目について質問しました。

肯定的回答は「社会的評価」「卒業生の活躍」が7割台とやや高く、その他の項目が6割台となっています。

図5 法政大学の評価(イメージ)

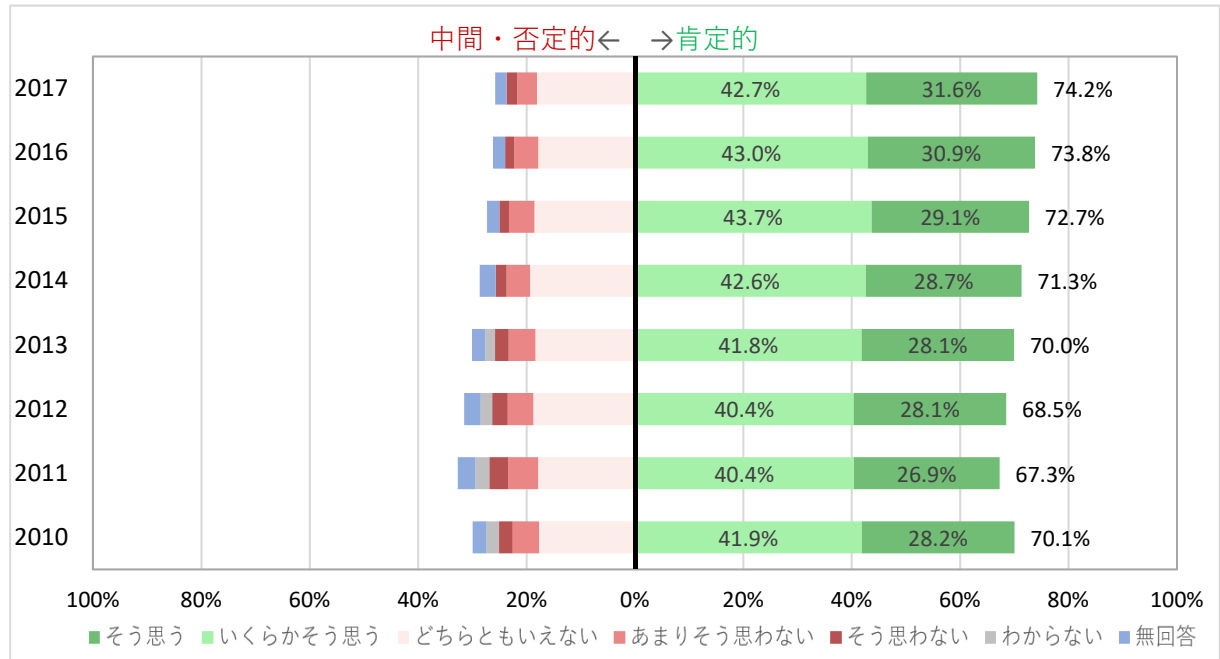


6 法政大学を勧めたいと思うか

図6は、「もし身近に四年制大学への進学希望者がいる場合、法政大学を勧めたいとおもいますか」の質問に対する回答を、経年比較したものです。

2017年度の肯定的回答の割合は74.2%であり、経年推移を見ると、2011年度に肯定的回答が減少したものの、その後は肯定的回答が増加傾向にあります。

図6 法政大学を勧めたいか



以上